

# 株式市場新聞

www.marketpress.jp

発行元 株式会社 株式市場新聞社

〒530-0005

大阪市北区中之島4-2-28 甲南アセット中之島ビル

TEL 06-6105-1904



1 第329号

日経平均株価

2万7003円56銭

▲185円03銭(前日比)

TOPIX

1915.91

▲17.56(前日比)

2022

5/9

月曜日



## 決算発表はいよいよ終盤戦

SMBC日興証券が集計したTOPIX業の23年3月期通期純利益予想は、4月27日まで発表分(113社、開示率7.8%)で前年比16.9%増とポジティブな予想になっている。原料高など不安要素があるものの、9日以降に発表される

9日発表ではニッパト(5367)はセラミックが電子部品向けに拡大、今年3月期も旺盛な需要拡大は継続し、営業利益は前期の9億円(2.5倍)から10億円台が期待される。ゲームでは10日に任天堂(7974)、11日にカプコン

(9697)が控える。任天堂は発売延期となっていた「ゼルダの伝説 ブレス オブザワイルド」(BotW)「続編が今期は貢献、カプコンも前期の上方修正を発表済で、今期も看板タイトルが手堅く貢献しよ

う。12日発表の東映アニメーション(4816)は「ワンピース」などの新作が控えており、こ

れらが今期予

## 円安進み為替の影響重視

企業に好影響

3月期決算発表は5月のゴールデンウィーク明けからいよいよ中盤戦から終盤戦に突入する。すでに4月末に発表している電子部品大手などの外需は原料高などの圧迫要因はあるものの、旺盛な需要を背景に概ねポジティブな業績予想を発表する企業が多かった。4月28日の日銀金融政策決定会合を受けて円安がさらに進んだことから、これから発表される企業は内需、外需含めてより為替の影響を重視することになる。注目銘柄をピックアップした。

## 3月期決算発表終盤戦へ

## 好業績期待銘柄をピックアップ

想に加味されそう。3月決算以外では湖北工業(6524)が22年12月期の第1四半期(1~3月)決算を発表する。自動車用などアルミ電解コンデンサー用リード端子が好調で前期営業利益は41億2600万円(前期比60.1%増)と大幅な増益となった。今期は43億1100万円と小幅増益予想ながら第1四半期の内容次第では上振れ期待も。

日経平均日足チャート



木徳神糧の日足チャート



# 木徳神糧S高で最高値

## 22年3月期上振れ増配へ

1030億円(前期比4.5%減)、営業利益で48000万円から10億円(同90.1%増)

週明け25日、木徳神糧(2700)がストップ高で最高値を更新。22年3月期の業績予想について、連結売上高で975億円から

### 4月第4週の動意銘柄

へ上方修正、期末配当を25円から35円(同25円)へ引き上げた。円安の影響でミニマム・アクセス米と輸入乾牧草の単価が上昇した。

#### 東製鉄今期48%増収

東京製鉄(5423)が急反発。23年3月期の単体業績予想は、営業利益300億円(同5.6%減)と微減益ながら、

### 非鉄金属先物軒並安

26日、住友金属鉱山(5713)やDOWAホールディングス(5714)、三井金属(5706)など非鉄金属セクターの下落が目立った。北京市ロックダウンなどによる中国需要減退懸念から、商品先物市場でCMX銀先物が2.4%安、CMX銅先物が2.9%安、LMEアルミ先物が

主原料の鉄スクラップ価格高騰の影響を織り込み保守的に見積もっており、売上高は4000億円(前期比47.7%増)と大幅増収で、出荷数量の大幅な増加がポジティブサプライズになった。併せて、発行済み株式数の2.42%にあたる280万株、30億円を上限とする自社取得枠を設定し

たことで、需給改善による株価浮揚効果も期待された。

#### トーセNFT参入

トーセ(4728)がストップ高。今22年8月期の決算説明資料でメタバースやNFTに関連した事業への参入を表明したことが材料視された。複雑な立体映像などゲーム制作の技術を活用する。

#### インソス一転大幅増益

インソス(6200)が急伸。集計中の22年9月期第2四半期累計の連結業績について、営業利益を

#### キヤノン電45%減益

キヤノン電子(7739)が急落。22年12月期第1四半期決算は、連結営業利益で前期比44.9%

### 正直いいさんの株で大判小判

前週の東京市場は連休の谷間で2日間の立ち合いでしたが、底堅い動きになりました。両日とも前日の米株市場でダウが1000ドルを超える急落となつたことで、下値を試す場面はありましたが、押し目し、2日はあと上げにを回復してOMC通過ならず、グロシになりま強く相場を米金融政策に明けも米長期金が続きそうです。一方で円安効果堅調です。週明決算発表を手掛個別物色が活況になり、全般も底堅い動きが続くとみており、好決算銘柄で値幅狙いのチャンスを探る考えです。花咲翁

#### 好決算銘柄にチャンス探る

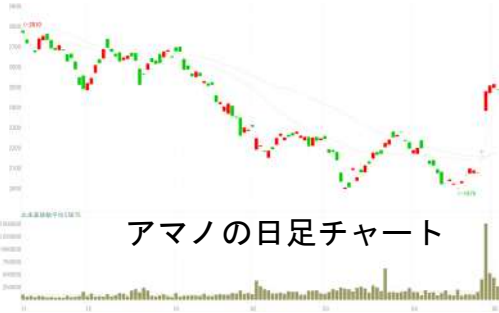


減の10億1400万円となった。パーソナル向けを中心に受注は増えたが、新型コロナウイルスや電子部品のひつ迫の影響で生産、売上が減少した。

#### マクアケ下方修正

27日、マクアケ(4479)がスト

ップ安。22年9月期予想について、売上高で62億円から47億円(前の期比1.7%増)、営業利益で4億6500万円から0円(前期3億2900万円)へ下方修正した。先行した人材採用で一時的コストが増えた。



アマノの日足チャート

27日、アマノ(6436)が続騰、上昇率は一時14%を超えた。26日引け後に発表した23年3月期の連結業績は、営業利益165億円(同28.0%増)と前期に続いて3割近い大幅増益を見込み、併せて発行済株式数の1.35%にあたる100万株、25億円を上限にした自社株取得枠を設定したことが買い手掛かりになった。デジタルトランスメー

# アマノ上昇率14%超え

## 28%増益見込み自社株買い

27日、アマノ(6436)が続騰、上昇率は一時14%を超えた。26日引け後に発表した23年3月期の連結業績は、営業利益165億円(同28.0%増)と前期に続いて3割近い大幅増益を見込み、併せて発行済株式数の1.35%にあたる100万株、25億円を上限にした自社株取得枠を設定したことが買い手掛かりになった。デジタルトランスメー

## シマノは収益悪化懸念

シマノ(7309)が急落。22年1-3月期の連結決算は営業利益380億3300万円(前年同期比16.8%増)と2ケタ超の増益で着地し、併せて自己株式取得枠の設定を発表した。材料視されなかつた。資材価格高騰による利益悪化懸念があるようだ。自己株取得枠は上限100万株(発行済株式総数に対する割

シマノ(7309)が急落。22年1-3月期の連結決算は営業利益380億3300万円(前年同期比16.8%増)と2ケタ超の増益で着地し、併せて自己株式取得枠の設定を発表した。材料視されなかつた。資材価格高騰による利益悪化懸念があるようだ。自己株取得枠は上限100万株(発行済株式総数に対する割

シマノ(7309)が急落。22年1-3月期の連結決算は営業利益380億3300万円(前年同期比16.8%増)と2ケタ超の増益で着地し、併せて自己株式取得枠の設定を発表した。材料視されなかつた。資材価格高騰による利益悪化懸念があるようだ。自己株取得枠は上限100万株(発行済株式総数に対する割

シマノ(7309)が急落。22年1-3月期の連結決算は営業利益380億3300万円(前年同期比16.8%増)と2ケタ超の増益で着地し、併せて自己株式取得枠の設定を発表した。材料視されなかつた。資材価格高騰による利益悪化懸念があるようだ。自己株取得枠は上限100万株(発行済株式総数に対する割

シマノ(7309)が急落。22年1-3月期の連結決算は営業利益380億3300万円(前年同期比16.8%増)と2ケタ超の増益で着地し、併せて自己株式取得枠の設定を発表した。材料視されなかつた。資材価格高騰による利益悪化懸念があるようだ。自己株取得枠は上限100万株(発行済株式総数に対する割

公開価格92%上回る  
モイの初値  
31)が東証  
グロース市場  
に新規上場、  
公開価格47  
0円を92%  
上回る902  
円で初値が生まれた。  
同社はライブ配信コ  
ミュニケーションプ  
ラットフォーム「ツ  
イキヤス」の企画、  
開発、運営を行う。

松井証券

今こそ始めるデイトレード

# 松井証券の一日信用取引

手数料 0円 金利・貸株料 0~1.8%

取引  
コスト

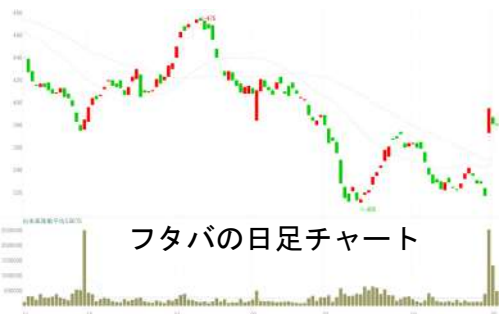
プレミアム  
空売り

独自  
サービス

最短3分でお申込み完了!

【無料】新規口座開設はこちら
▶

marketpress.jpのバナーをクリック



# フタバ一時ストップ高

## 64%営業増益と自社株買い

収益急回復を見込んだ。原価改善や生産体制、サプライチェーンの見直しなどにより売り上げが伸び、収益性も改善する。併せて、発行済み株式数の0.25%に

28日、フタバ産業(7241)が急伸、一時ストップ高まで買われた。23年3月期は営業利益100億円(前期比63.5%増)と

あたる23万株を上限とする自社株取得枠を設定したことも買い気を誘った。

**公開価格の2.4倍**

ペットゴーの初値

ペットゴー(7140)が東証グロース市場に新規上場、公開価格550円の2.4倍となる1295円で初値が生まれた。Eコマースを主としたペットヘルスケア事業を行う。

**公開価格72%上回る**

クリアルの初値

クリアル(2998)が東証グロース

市場に新規上場、公開価格930円を72%上回る1600円で初値が生まれた。資産運用プラットフォーム事業、ワンルームマンション投資、富裕層・機関投資家向け資産運用を行う。

**OLC大幅5日続落**

オリエンタルランド(4661)が大

幅に5日続落。23年3月期の業績について、連結売上高で4079億2200万円(前期比47.9%増)、営業利益502億5100万円(同6.5倍)を

# アルプスアル35%増益

2日、アルプスアルパイン(6770)

が急伸。22年3月期の連結決算は計画を上振れ、営業利益352億800万円(前の期比2.7倍)で着地、23年3月期も475億円(前

# 5月第1週の動意銘柄

期比34.9%増)と大幅増益を予想した。ゲーム機やモバイル機器向けコンポーネント製品が堅調に推移、為替が円安基調で推移したこと

も利益を押し上げており、配当も第2四

# 転ばぬ先のテクニカル

## 割安な日本株

GW中の米国市場は乱高下。注目のFOMCは市場予想通り0.5%利上げで決着し、次回6月、7月も0.5%利上げを示唆したことで、一旦は材料出尽くしによる買い戻しで急騰しましたが、5日はアッサリ前日の上げを帳消しにし、ナスダックは年初来安値を更新と慌ただしい値動きに終始しました。

それを受けた東京市場も寄り付きから下落場面がありましたが、政府が6月にも外国人観光客の入国再開を検討と伝わるとインバウンド銘柄が押し上げる展開となりました。日経平均は50日線を回復すると同時に一目均衡表でも雲の上に出てきました。

米国市場は調整局面を抜け出せませんが、為替市場の円安進行によりドル建て指標で見た東京市場は海外投資家から割安と映り出した可能性があります。日本株は押し目買いの好機ではないでしょうか。

日々勇太郎



**日立自社株買と増配**

見込んだが、営業利益では1100億円程度が市場で期待されていたことから悲観売りを浴びた。外部環境の改善に伴い、部環境の改善に伴い、数が増加する見込み。

日立製作所(6501)が大幅続伸。

が急落し最安値更新。集計中の22年3月期の連結業績について、最終損益を204億200万円の赤字から98億円の赤字(前の期169億2900万円の黒字)に下方修正した。原材料や輸送費などコスト増に伴う減損損失と法人所得税費

期105円)へ増配すること好感。

**PHCHD最終赤字**

PHCホールディングス(6523)

半期末、期末合わせて年間40円(前期20円)に増配する。発行済み株数の1.21%にあたる250万株、25億円を上限とする自社株買いも発表した。

# ～決算情報～

## ハリマ化成G

### 21%増収で営業益2.1倍 22年3月期粘接着材大きく伸びる

ハリマ化成グループ（4410）の22年3月期の連結決算は、売上高760億9300万円（前の期比21.1%増）、営業利益32億5000万円（同2.1倍）、最終利益17億4600万円（同60.0%増）で着地した。

欧米で粘接着剤用樹が大きく伸び、製紙用薬品は原材料価格高騰の影響を受けたものの中国を中心に引合いが強く、2割を上回る大幅増収で利益が急回復した。営業益は倍増し減損損失を吸収して最終段階でも6割増益を確保している。

23年3月期は売上高880億円（前期比15.6%増）、営業利益20億円（同38.5%減）、最終利益20億円（同14.5%増）を計画。原材料価格高騰や為替の影響を織り込み厳しく見積もった。年間配当38円継続。

## 日本精線

### 半導体関連業界向け好調 23年3月期は8.3%増収見込む

日本精線（5659）の23年3月期は連結売上高で485億円（前期比8.3%増）、営業利益で44億円（同4.3%減）を予想。

22年3月期は売上高で447億9500万円（前の期31.3%増）、営業利益で45億9600万円（同91.3%増）と大幅な増収増益だった。半導体関連業界向け超精密ガスフィルター（NASclean）や太陽光発電パネルなどの製造プロセスで使用される極細線に代表される高機能・独自製品に対する需要の強さが継続、ステンレス鋼線の販売数量の回復による粗利増加や操業度損圧縮の効果が寄与した。今後はコスト増を販売価格へ転嫁し、BCM対策の徹底によってサプライチェーンの柔軟性確保と適正在庫の運用を図るなど、状況に応じた取組みを展開する。



6日、TOA（609）が急伸し、約4カ月ぶりに年初来高値を更新した。3年3月期の連結売上高74億7000万円（前期比7.4%増）、営業利益9億9000万円（同34.3%増）と増収増益を見込み、第2四半期末、期末を合わせた年間配当を40円（前期20円）へ大幅に増配すると発表した。中期計画に沿ってデジタルシフト

TOA急伸し新高値  
34%増益見込み配当倍増

### 資生堂など化粧品急落

資生堂（4911）が急落。3日、米ダウが1.3%下落。決算と併せて通期予想を下修正した。5%超の大幅下落となった。中国の波及、場の波、東京市場のロックダウンの影響を織り込んだ模様で、コーセー（4922）やポーラ（4927）も急落した。

と人材育成に重点を置いた成長投資を加えた業績連動性を加え、5%に引き上げた。ADWAYS上方修正（2489）が急反発。22年3月期の業績

東京電力ホールディングス（9501）が大幅高で年初来高値更新。岸田首相の講演のなかで「既存の原発1基が稼働すれば年間100万トンの液化天然ガス供給と同じ効果があると発言、改め安全を確保したうえで原発の有効活用の方針を示した。ことから買い気が再燃した。

について、連結売上高で135億円から138億円（前の期比42.3%増）へ、営業利益で11億円から14億2000万円（同9.4%増）へ上方修正、期末一括配当を3円69銭から5円49銭（前期5円71銭）へ引き上げた。マンガアプリを展開する広告主（クライアント）からの需要が増えた。

東電HD買い気再燃



敏腕先物ディーラー

## ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール  
証券アナリストから証券会社の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。



スリランカに財政危機(スリランカ・キャンディの街並み)

ドル円の日足チャート



「円キャ  
用する  
品の運  
貨の商  
外の通  
それ以  
調達し  
資金を  
は円で  
と、今  
考える  
利差を  
との金  
米国の

「売られれば買うが戻りは売  
る」展開を想定、相場のレンジ  
は2万6500円〜2万75  
00円を予想する。(ハチロク)

先週の日本株は2日間の立  
ち合いであったが日本が休場  
の時に米国市場は荒れた。荒れ  
た要因は米FOMCでFRB  
が金利を0.5%引き上げる  
と発表したことにある。通  
常は0.25%づつの利  
上げだが、今回は22年ぶ  
りの0.5%利上げである。  
3月の消費者物価指数

は前年同月比で8.5%上昇、  
米国のインフレ率が40年ぶ  
りの水準まで高まっている。  
急激なインフレを本気で抑え  
るというFRBの姿勢である。  
FOMC後は市場は0.7  
5%の引き上げも想定してい  
た為一旦は上昇で反応したが、  
やはり利上げのペースは速そ  
うだとの認識から木曜日には  
再び大幅安となった。  
FRBは金融緩和を従来の  
速さの2倍速で縮小する。  
その際に更に金利は上昇

おり、新興国や発展途上国の経  
済から目が離せない状況にな  
ってくるだろう。  
個人的には日銀もFRBも  
ロシアのウクライナ侵攻の影  
響を過少評価していたことが  
要因であると思われる。ウクラ  
イナ問題は長期化することが  
確実となってきたおり、資源価  
格の高騰も継続されるだろう。  
原油、瓦斯、小麦など生活必需  
品の価格上昇はインフレを強  
く促す。

「売られれば買うが戻りは売  
る」展開を想定、相場のレンジ  
は2万6500円〜2万75  
00円を予想する。(ハチロク)

# FRBの覚悟

## 新興国にも影響は大きい

先週の日経平均は前週末比  
約156円高、週足陽線となつ  
た。

は前年同月比で8.5%上昇、  
米国のインフレ率が40年ぶ  
りの水準まで高まっている。  
急激なインフレを本気で抑え  
るというFRBの姿勢である。  
FOMC後は市場は0.7  
5%の引き上げも想定してい  
た為一旦は上昇で反応したが、  
やはり利上げのペースは速そ  
うだとの認識から木曜日には  
再び大幅安となった。  
FRBは金融緩和を従来の  
速さの2倍速で縮小する。  
その際に更に金利は上昇

おり、新興国や発展途上国の経  
済から目が離せない状況にな  
ってくるだろう。  
個人的には日銀もFRBも  
ロシアのウクライナ侵攻の影  
響を過少評価していたことが  
要因であると思われる。ウクラ  
イナ問題は長期化することが  
確実となってきたおり、資源価  
格の高騰も継続されるだろう。  
原油、瓦斯、小麦など生活必需  
品の価格上昇はインフレを強  
く促す。

し、企業や個人、そして新  
興国にも影響は大きいであ  
ろう。基軸通貨の引き締  
めは低利のドルを大量に  
借り入れていた新興国は  
利払い負担が増大し財政  
破綻に陥る懸念もある。ス  
リランカでは早くもデフ  
ォルトリスクが高まって

日経225先物日足チャート



## 潮流

## 総弱気になった時が大底

## 米国は今後の利上げを織り込む

marKet/bAnk

4月22日の米株式市場でダウ平均の下げ幅は一時1000ドルを超えた。

急落のきっかけは、米連邦準備理事会（FRB）のパウエル議長が21日に5月3～4日の米連邦公開市場委員会（FOMC）で通常の2倍の0.5%の利上げを示唆し、その後も速いペースで利上げを続ける可能性を示したことだ。

米金利先物相場の値動きから利上げ確率を算出する「フェドウォッチ」は、5月のFOMCでの0.5%の利上げを99.6%、6月15～16日のFOMCで0.75%の利上げを91%（1週間前は28.4%）織り込んだ状態となった。

0.5%の利上げは既に確定として株式市場は織り込んでいたが、6月の0.75%までは織り込んでいなかったことで市場は過剰に反応した。市場では2022年は全FOMC会合で利上げを実施（3、5、6、7、9、11、12月の7回）し、2023年の3月と6月の2回で利上げは終了する見込みだ。7月は0.5%、9月以降の利上げ幅は全て0.25%を予想している。

フェデラルファンド（FF）金利が引き上げられた場合、FF金利の誘導目標は来年、2.

75%～3.25%に達し、中立金利とされる2.375%を大きく上回る。今後の

インフレ傾向次第で市場の織り込み方が変わってくるが、現時点での今後の利上げは織り込んだようだ。

米10年債利回りは19日に2.98%まで上昇した後は下がっている。また、バランスシート

の縮小（QT）については、5月のFOMCで実施が決定され、5月半ばから6月初めに縮小が始まるだろう。金利上昇はバリュエーション（投資尺度）面で相対的に割高なハイテク株にとって逆風となる。

26日のナスダック総合株価指数は4%急落した。下落率は今年最大だった。3月14日に付けた年初来安値を更新し、2020年12月以来の安値で終えた。グーグルなど主力ハイテク企業の業績に懸念が広がった。4月に入ってすでに12%下落し、昨年11月に付けた過去最高値からは22%下げ、再び「弱気相場」入りした。ただ、S&P500種株価指数が3月14日にチャート上で50日移動平均が200日移動平均を上から下に突き抜ける「デッドクロス」を形成し、長期の弱気相場入りのサインを示した日が底となって大幅に戻したように、総弱気になった時が大底になる。

潮流銘柄はサンユウ（5697）、JMD C（4483）、コムチュア（3844）。

から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp



岡山 憲史氏（株式会社マーケットバンク代表取締役）のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第1回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中

ナスダック20年12月来の安値

サンユウの日足チャート



の懸念が、きな、で、討上ず0の今たといは利R  
懸念が、きな、で、討上ず0の今たといは利R  
懸念が、きな、で、討上ず0の今たといは利R

# 警戒感強い動き続く

## ロシア対独戦勝記念日に注意

### 記者の視点 相場見通し

### 当面のスケジュール

- 9日 3月17・18日開催の日銀金融政策決定  
会合議事要旨  
中国4月貿易収支  
ロシア「対独戦勝記念日」式典開催
- 10日 3月家計調査(8:30)  
独5月ZEW景況感指数(18:00)  
(14:00)
- 11日 3月景気動向指数(14:00)  
中国4月生産者物価、中国4月消費  
者物価(10:30)  
米4月消費者物価(21:30)  
米10年国債入札
- 12日 4月27・28日開催の日銀金融政策決定  
会合の「主な意見」  
4月都心オフィス空室率(11:00)  
4月景気ウォッチャー調査(14:00)  
インド4月消費者物価(21:00)  
米4月生産者物価(21:30)  
米30年国債入札
- 13日 4月マネーストック(8:50)  
オプションSQ
- 16日 国内企業物価  
中国鉱工業生産、中国小売売上高
- 17日 第3次産業活動指数  
米小売売上高  
米鉱工業生産指数・設備稼働率
- 18日 GDP  
鉱工業生産  
米住宅着工件数  
米原油・ガソリン在庫
- 19日 貿易収支  
機械受注  
対内対外証券投資  
フィラデルフィア連銀景況指数  
米新規失業保険申請件数  
米中古住宅販売件数
- 20日 全国消費者物価指数

注目されてきた4日の米連邦公開市場委員会（FOMC）では、マケットの事前予想通り通常の2倍となる0.5%の利上げと保有資産圧縮の6月開始を決めた。FOMCの記者会見でパウエルは積極的に「9日の日銀金融政策決定会合後、市場はダウは2.81%上昇となる932.27ドル高、ナスダック指数も3.19%の上昇となったが、翌日は再度、米国のインフレ懸念が高まり、積極的な金融引き締めを続けるとの見方が再燃し、ダウは100ドルを超す大幅下落となった。東京市場はアク抜けとはならず、引き続きニューヨーク市場の動きを睨みながら警戒感の強い動きとなりそうだ。今週は海外で11日に米4月生産者物価、12日に米4月消費者物価の発表が予定されている。国内でも9日に3月17日開

議事要旨と12日に4月28日開催の日銀金融政策決定会合の主な意見が発表されるが、4日までで日米の一大金融イベントが通過したこと、一旦は為替や金利含めて落ち着きを見せるだろう。一方、9日にはロシアで「対独戦勝記念日」式典が開催される。この式典でプーチン大統領が「特別軍事作戦」と称しているウクライナ侵攻を「戦争」に引き上げて宣戦を布告し、国家総動員を命令するとの観測が流れている。現状でロシア大統領府はこれを否定しているが、宣戦布告となれば地政学リスクが再度高まる可能性がある。

### 編集後記

今年3年ぶりに行動制限のないGWとなり、平日もよく2日と6日の平日を休めば最大で10連休になった。ただ、事前のアンケートでは連休を自宅でごすと答えた人が7割以上を占め、国内旅行にかけた人は昨年の1.7倍に増えたようだが、推計で160万人と水準自体は低い。筆者も日帰りのドライブに行ったりは、自宅の整理や掃除をして過ごした。長引くコロナ禍で自身も、自粛生活が当たり前になってしまうと感ずる。必要ではないだろうか。

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。